

わくわく



一年の
無病息災を願う

(涌谷どんと祭裸参り)

新しい議会がスタート	〈議会構成紹介〉	2
指定管理者制度導入を図る	〈12月会議〉	6
町政を問う5人の提言	〈一般質問〉	8
おかげさまで200号	〈200号特集〉	16
台風 水害対策早急に	〈議会懇談会〉	18

議長に後藤洋一議員、副議長に大友啓一議員

議長選挙では4人が所信表明を行い、議員13人の投票の結果、後藤議員6票、大泉議員4票、鈴木議員1票、久議員1票となり(無効票1)、後藤議員が議長に就任しました。

副議長選挙では、投票の結果、大友議員が副議長に就任しました。



しっかりと手を取り合う後藤議長(右)と大友副議長(左)

議長 後藤 洋一

安心・安全に生活できる
環境の整備

近年、大規模な自然災害や異常気象が頻発し、各地で甚大な被害が出ております。

涌谷町議会としても、町執行部、関係機関と三位一体となって、町民の生命や財産を守るために、地域の特性(西・東・箕岳)に応じた防災・減災対策を強化していくことが肝要と考えております。真摯に、誠意を持って町民の皆さまの意見に耳を傾け、町が行う事業の立案、決定、執行、評価、それぞれの段階の審議における論点や争点を公開し、議会の役割を果たしてまいります。

結びに、今後とも議会に対して町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のごあいさつといたします。

副議長 大友 啓一

地域の皆さまの声を
町政に反映

昨年9月に財政再建計画が策定され、令和2年度から本格的に計画に沿った町政運営が始まります。我々議会はチェック機能の役割を果たしながらしっかりと議論し、是は是、非は非とする厳しい姿勢で町民のために、町の将来のために前に進んで行かなければならぬと考えております。

誠心誠意、地域の皆さまの声に耳を傾け、その声を町政に反映してまいります。議会が丸となり、議会と行政が車の両輪となって方向性をしっかりと見定めて行けば、素晴らしいまちづくりに結びつくと考えております。

議長をしっかりと支えながら議会運営をしてまいりますので、これからの4年間よろしくお願ひ申し上げます。

1月 会議

新体制がスタート

町議会議員選挙後の初議会が1月9日に開催され、議長、副議長をはじめ、各委員会の構成などが決まりましたので、お知らせします。

涌谷町議会委員会構成

総務産業建設常任委員会

所管課 総務課、企画財政課、税務課、まちづくり推進課、農林振興課、会計課、建設課、農業委員会事務局

委員長 杉 浦 謙 一
副委員長 稲 葉 定
委員 大 友 啓 一
大 泉 治
竹 中 弘 光
涌 澤 義 和

教育厚生常任委員会

所管課 教育総務課、生涯学習課、町民生活課、上下水道課、健康課、福祉課、総務管理課

委員長 久 勉
副委員長 鈴 木 英 雅
委員 伊 藤 雅 一
佐々木 みさ子
佐々木 敏 雄
黒 澤 朗

議会運営委員会

議会を円滑に、効率的に運営するために、議会運営や議長の諮問に関する事項などを調査したり、請願・陳情の審査を行います。

委員長 久 勉
副委員長 杉 浦 謙 一
委員 伊 藤 雅 一
稲 葉 定
佐々木 みさ子

議会広報広聴常任委員会

委員長 佐々木 みさ子
副委員長 稲 葉 定
委員 議長を除く全議員

広報分科会

議会だよりの編集・発行を行います。

分科会長 稲 葉 定
副分科会長 黒 澤 朗
委員 大 友 啓 一
久 勉
伊 藤 雅 一
涌 澤 義 和

広聴分科会

議会懇談会の実施や、^{*}広聴活動を行います。

分科会長 佐々木 みさ子
副分科会長 佐々木 敏 雄
委員 大 泉 治
鈴 木 英 雅
杉 浦 謙 一
竹 中 弘 光

涌谷町監査委員

竹 中 弘 光

大崎地域広域行政事務組合議会議員

久 勉

宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員

佐々木 みさ子

※広聴…広く意見を聴くこと。

新議員13名の決意表明

町民の皆さんと共に頑張ります。

任期は令和2年1月1日から令和5年12月31日までの4年間です。

議席番号			
議員名		今期の抱負、信念	
行政区			
期数	今期最も力を入れて取り組むこと		
13番			率先垂範を心がけ、実行する
後藤 洋一			
10区		安心・安全に暮らせる環境づくりに努める。	
3期			
1番		わたしたちの町にあらたな希望を	結果重視の行動
黒澤 朗			
7区		財政の健全化、教育環境の整備、町ににぎわいを。	
1期			
2番			
涌澤 義和			
下郡区		新規も必要だが、諸問題の解決・結果重視の活動。	
1期			
3番		企業目線で行政改革	町民目線で
竹中 弘光			
9の3区			
2期	「住みたい涌谷へ」の実現を目指す。		
4番			
佐々木 敏雄			
日向区			
2期	町民に身近な議員として活動する。		
5番		活力のあるまちづくり	不撓不屈
佐々木 みさ子			
上町区			
2期	町政をわかりやすく情報発信。		
6番			
稲葉 定			
猪岡区			
2期	弱者目線での取り組み優先。		

議会構成紹介



ワンチームで町の課題解決に取り組んでいきます。

7番		がんばろう涌谷まち ふるさと再生の先頭に
伊藤 雅一		
脇区	やさしさと活力のあるまちづくり。 低額年金生活者の支援強化。	
4期		

8番		温かい活動家
久 勉		
6区	小・中学校各クラスに グループに1台のタブレットを。	
4期		

9番		住民が主人公
杉浦 謙一		
2の2区	安全安心なまちづくり。	
4期		

10番		安心して定住できる まちづくり
鈴木 英雅		
長根区	子どもたちを育む教育環境の充実。	
5期		

11番		こころ豊かな まちづくり
大泉 治		
2の2区	健全財政の実現に取り組み、町民に 安心してもらえる行政を目指す。	
6期		

12番		新たな発想と行動力
大友 啓一		
小里区	県道河南築館線および国道346号線 道路改良工事の早期実現。	
3期		

12月会議

12月会議

12月会議は12月4日、5日の2日間の日程で開催しました。条例の一部改正や各会計補正予算など、町長提出議案19件と、議員報酬に係る議員発議1件を原案どおり可決しました。一般質問には5人の議員が登壇し、7項目について町政をたどしました。

原案可決	議員発議	1件
	議案	11件
	補正予算	8件
一般質問		5人
(→P 8へ)		

※町内5施設に

指定管理者制度導入を図る関係条例整備

※住民の福祉を増進する目的で設置された公の施設について、民間事業者が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図っていくこと。



涌谷スタジアム



涌谷町勤労福祉センター



涌谷町B & G海洋センター



涌谷町箆岳地区町民体育館



涌谷町農村環境改善センター

会計年度任用職員制度

始まる

平成29年5月に公布された地方公務員法および地方自治法の一部を改正する法律が令和2年4月1日から施行され、会計年度任用職員制度が導入されることに伴い、会計年度任用職員に係る条例を制定するもの。

法改正の概要

- ① 特別職の任用と臨時的任用の厳格化。
- ② 一般職の非常勤職員の任用などに関する制度の明確化。
- ③ 会計年度任用職員に期末手当の支給が可能となるよう規定を整備。

介護保険給付基金条例の一部改正

一般会計などの他会計において資金が一時的に不足した際、介護保険給付基金に積み立てているお金を繰り替えて利用できる。

訴訟上の和解について

長期間家賃を滞納している八雲住宅の入居者に対し、建物の明け渡しと未払い賃料を支払うことで和解。

議員発議

国の人事院勧告による法改正に準じ、議員の期末手当を0・05月分引き上げ。

議員の期末手当

年間 3.35月



改正後 3.40月

皆さんの請願・陳情

ライドシェア反対、地域公共交通の充実を求める意見書採択の要請

陳情者

自交総連東北地方連合会 執行委員長 本間 昭

審査の結果 配布

一般会計補正予算

好評 ふるさと納税

返礼品のバリエーション 増など
職員の努力数字に表れる



歳入

ふるさと納税

500万円 増

10月末時点で当初見込んでいた900万円に達したため、ふるさと納税の納入ピークとなる11月、12月の昨年度の実績などを踏まえ増額。

歳出

温泉施設等環境整備負担金

70万円 増

天平の湯の雨水排水ポンプを修繕。

小学校管理経費修繕料

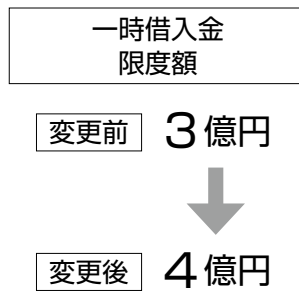
106万円 増

涌谷第一小の消防設備や箕岳白山小の雨漏り箇所などを修繕。

国保病院事業会計補正予算

一時借入金限度額を4億円に増額

資金を運用していく中で現金が不足する場合に備える。



主な質疑

患者の意見受け止め改善を

問 患者から寄せられた意見に対して、病院内で検討を行い、反映するよう努めているか。

答 毎月の会議の中で検討を行い、対応している。情報発信についても、広報やホームページで詳しく発信できるように取り組んでいく。

病院の人員費 さらに精査を

問 一時借入金をしなくて現金が足りない状況の中で、賞与などは通常どおり支給するのかな。

答 診療報酬などの現金が入るまで給与、賞与の支給を遅らせては、職員が不安になる。しっかりと働いた分については支払うべきと判断している。

経費削減の努力を

問 病院自体の運営をもっと少し考え直す時期ではないか。看護体制の見直しや、医師が少なければ病棟の一部を閉鎖するなど、経費の削減が必要ではないか。

答 看護師や医師の定員を削減することはすぐにはできない。医師確保のための新たな試みも行っており、もう少し猶予をいただきたい。

討論

反対 只野 順 議員

職員人員費の削減を

一時借入金の増額については、今後の限度額が明確でない。町民から厳しい目が向けられている中で、人員費の削減に努力したのか疑問である。一般会計からの資金繰りを行えば、町民の要望の多いインフラ整備に 대응することができないので反対する。

12月会議採決状況

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

件名	竹中 弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉 定	大友 啓一	只野 順	後藤 洋一	伊藤 雅一	久 勉	杉浦 謙一	鈴木 英雅	大泉 治
国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長

ズバリ

12月会議では、12月4日に一般質問が行われ、5人の議員が町政全般について質問しました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページ URL
(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)
一般質問動画配信ページ QRコード



一般質問

町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

佐々木敏雄 議員 (9 ページ)

- 1 令和元年台風19号災害の検証と今後の対応策について問う

只野 順 議員 (10 ページ)

- 1 防災・減災で安全・安心なまちづくりについて
- 2 女川原発の再稼働について

佐々木 みさ子 議員 (11 ページ)

- 1 安心・安全に暮らせるまちづくりについて

久 勉 議員 (12 ページ)

- 1 令和2年の当初予算編成にあたり、どんなことに留意されているか

杉浦 謙一 議員 (13 ページ)

- 1 国保病院の健全経営についての考えは
- 2 財政状況の改善に向けての考えは



補修が急がれる洞巖山隧道周辺



継続的なしゅんせつが望まれる

問 新下町浦雨水調整池が完成し、初めて大雨が流入した平成29年10月の台風21号被害で、調整池に流入する前に下町地区が冠水した。短時間雨量は17ミリ、期間降水量は130ミリであった。令和元年台風19号の短時間雨量は44ミリ、期間降水量は250ミリであった。雨水調整池がありながら、下町地区、新下町浦地区の被害の現実を目の当たりにして、対応策をどう考えたか。

町長 当日の状況としては、JA営農センター前排水路の水が雨水調整池に区域外流入したことや、中央排水路が満水だったため流下能力が著しく低下したことなどがある。いずれも短時間に非常に多くの降雨があったために通常の想定を著しく超える流入があり、雨水調整池自体も満水となった。

今回の状況を踏まえ雨水調整池の機能強化などの検討と、総合的な内水排除計画の見直しが必要で、関係機関団体と対応を考えていく。

問 台風19号の被災の要因は排水路の土砂などの堆積にもあると思う。しゅんせつ計画をどう考えるか。

町長 箇所を精査や緊急性を考慮して見直しを行い、順次しゅんせつを実施していく。

問 白畠から洞ヶ崎に流れる洞巖山隧道の北側の石垣の間に雨水が流れ込んで開口状態となっており、崩落が懸念される。町として早急に対応すべきであると考えが。

町長 補修については土地改良区と協議の上、現状を把握して内水排除の計画の中で取り組んでいきたい。

問 雨水調整池の検証と今後の対応策は

答 総合的な内水排除計画の見直しが必要



佐々木敏雄 議員



問 台風19号の災害の検証は



只野 順 議員



答 課題を明らかにし、対策に反映させる



日頃から防災マップの確認を

町長 再稼働については、国においてはエネルギー政策の中・長期的な観点から総合的に判断されるべきと考えている。安全レベルの向上に向けた取り組みを着実に進めていただけよう、注視していく。

※バイオマス…生物から作り出される有機性のエネルギー資源。

※UPZ…原子力施設から約30km圏内。緊急時に屋内退避などの防護措置を行う。

問 町の避難計画に原子力災害の避難計画が策定されているが、石巻市からの避難民の受け入れなど実態と伴っていない実情がある。議会では平成24年9月に再稼働に反対する意見書を提出している。大谷地、短台地区がUPZ[※]30[※]圏内にあり、圏内5市町と連携し、広域避難の面からも積極的に発言すべきであると考えている。

町長 地球環境に優しい再生可能エネルギーの推進は重要であるが、バイオマスについては、当町の資源量では経済性の観点から実施が難しい。小水力発電についても、地形や水量などの関係から難しいものと考えている。

問 台風19号の災害をどのように検証したのか。今回の浸水地域の高低差などを入れて防災マップの内容を見直し、町民にわかりやすく示してはどうか。

町長 検証は進めているが、まだ災害復旧、生活支援の最中であり、取りまとめには至っていない。今後、課題を明らかにし、防災・減災対策に反映させていく。

答 再稼働は

国が総合的に判断する

問 女川原発の再稼働に反対すべきでは

問 バイオマス、太陽光、小水力などの再生可能エネルギーについて取り組む考えは。



甚大な被害をもたらした昨年の台風 排水機場の安全対策も必要となる

問 台風19号の予報では、非常に強い猛烈な雨が降る可能性がある」と報じられていたが、当町ではどのような災害対策を講じたのか。

町長 10月12日9時に災害対策本部を設置し、11時に避難準備、16時30分に避難勧告を発令した。

災害対応については職員による町内パトロールや情報収集を行った上で被害状況の確認などを随時行った。遠田警察署、遠田消防署とも連携し、災害対応に当たった。

問 東地区の内水氾濫による水害の実態把握と、原因の究明は。

町長 今までにない降雨量で、大量流水の発生や排水量をはるかに超える降水量となり、土砂災害や住宅の床上浸水などの被害が大きくなったと考えられる。排水機場のオペレーターの指示系統に問題はなく、

未曾有の豪雨により排水機場の操作室が浸水するなどして、漏電、感電の危険があったのでオペレーターを避難させたと聴いている。

問 避難所はリスクを考慮し、環境整備をすべきでは。

総務課長 今回のことを踏まえ、避難所の環境整備について検討していく。

問 安心して暮らすことが出来るまちづくりはどう取り組むのか。

町長 各課関係機関と連携し、町や関係機関が講じた対策が住民の生命や生活を守るために十分機能したか課題を明らかにして、今後の防災・減災対策に反映させていきたい。

問 東地区の内水氾濫 原因は

答 排水量をはるかに超える降水量だった



佐々木みさ子 議員



問

来年度の当初予算編成 留意点は



久 勉 議員

答

全てゼロから事業を見直す

一般質問

問 財政非常事態宣言を出して初めての予算編成であるが、どのようなことに留意しているのか。

町長 財政再建が最優先であり、聖域なく全てゼロからの事業見直しが必要と考えている。

問 当町の特性を精査した結果は。

町長 当町の特徴は保健、医療、介護、福祉の一体的、系統的な提供や子育て関連事業に注力してきていることだ。全国に先駆けた地域包括ケアシステムの構築については、県内でも特筆すべき内容と評価されている。

問 町単独の補助金は、特に精査すべきで、各団体と面談すべきであると考えているか。

町長 補助金の効果は当事者に聴かなければわからないこともある。

今後の補助金については厳しい部分もあるかと思うが、ご理解をいただきながら、町全体としての財政状況を向上させていきたい。

問 町単独の建設事業は凍結すべきでは。

町長 現在の財政状況では新規の建設事業は実施できる状況にない。

問 道路などの補修の要望については、町民も交えた検討する場を設けて議論すれば、優先順位も明確になり、理解してもらえるのではないかと考えるか。

町長 町民の理解をいただくために、最善を尽くす。しっかりと対話しながら進めるよう努めていく。

No.	項目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	計
	税等徴収率向上						34,612
1	担当 税務課	効果額 9,484	7,897	6,859	5,678	4,693	
	概要 課年分徴収率98.25%を98.8%と見込む。						39,658
2	町民所得向上策の推進						15,717
	担当 企画課	効果額 4,039	8,005	11,897			
	概要 個人町民税の課税額が低水準にある事から、ブランド米事業や農業遺産・日本遺産、企業誘致活動などにより、町民所得の向上を図る。						
No.	項目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	計
3	各種手数料等の見直し						7,776
	担当 民生課・税務課等	効果額 1,944	1,944	1,944	1,944		
	概要 各種証明書発行手数料について、大崎管内の状況を調査し、改定する。						
4	各種施設使用料等の見直し						1,108
	担当 教育総務課・生涯学習課等	効果額 277	277	277	277		
	概要 施設使用料について、施設のコスト把握をするとともに、料金改定を検討する。また、使用料の減免について見直す。						
5	放課後学童クラブ利用料の削減						17,688
	担当 福祉課	効果額 △1,068	4,734	4,734	4,734	4,734	
	概要 受益者負担の原則から、利用料を削減する。						
No.	項目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	計
6	ふるさと納税の推進						2,485
	担当 総務課	効果額 450	472	496	520	547	
	概要 PR方法の検討や返礼品の商品開発を活性化させ、対前年10%の増額を見込む。						
7	職員駐車場利用協力の徴収						4,368
	担当 総務課	効果額 1,092	1,092	1,092	1,092		
	概要 職員駐車場について、利用協力の徴収を検討する。						

涌谷町財政再建計画
令和元年度～令和5年度

財政再建が最優先 町民にしっかりと説明し、協力を求めてもらいたい

問 財政再建計画の見直しの時期は

答 今年度の結果を踏まえ、
来年度にも見直しを行う

問 黄金山町有地整備事業の償還が見込まれるが、町長の考えは。

町長 県から4億円の貸し付けを受けており、令和2年度が償還期限となっている。町の現在の逼迫した財政状況では、償還のための資金の確保が難しいことから、県に対して償還期限の延長を相談しているところである。

問 財政再建計画の見直しの時期は。

町長 随時見直し、追加・検討していくこととしており、令和元年度の結果を踏まえ、令和2年度には何らかの見直しが必要となると考えている。

問 平成31年3月1日発行の広報わくやの中で、財政調整基金が令和3年度にはマイナスになると試算されていたが、今後の見込みは。

町長 税収の増加や特別交付税の増額などがあり、想定よりも基金は減っていない。財政調整基金を枯渇させないよう再建計画の実施にまい進していく。

問 国保病院の経営状況は。

センター長 病床稼働率は昨年度が65・8%だったが、今年度は10月までの実績で77・1%となっている。整形外科外来の診療日数が増え、入院も受け入れられる体制をとっている。今年度上半期の病院事業収益は税抜きで5800万円程度の増となった。令和2年度は前年度比1億円程度の増収が見込めると考えている。

問 厚労省が全国42の公立病院などについて、「再編統合に」とする分析をまとめ、病院名を公表した。町長の考えは。

町長 国が地域の実情に配慮せず、データのみで一律に判断したものを受けとめている。国保病院の地域医療に果たす役割と、自治体病院としての存在意義を再認識していただく契機になればと考えている。



国保病院では整形外科も週5日診療

問 国保病院の経営状況は

答 前年度比で
1億円程度の増収を見込んでいる



杉浦謙一 議員



常任委員会所管事務調査報告

各常任委員会でテーマを設け、平成30年からの2年間で調査した結果を12月会議で報告しました。報告書の主な内容をお知らせします。

建設産業総務 常任委員会

委員長 洋一定 英雅一
副委員長 後藤 稲葉 鈴木 伊藤 佐々木
委員 敏雄

テーマ

魅力あるまちづくり

調査結果および意見

企業誘致は福祉施策と併せて、北海道東川町を視察し、人口増の要因が景観づくりなどに配慮した独自の住宅施策にあり、企業誘致を図りながら、移住・定住につながるよう努力することが大切だと実感した。

日頃から災害時の備えを

冠水発生箇所や堤防の整備状況の調査を行った。町民一人ひとりが、日頃から災害時の備えをすることが安心・安全につながる。



常にチャレンジする姿勢が大切と語る東川町長

まとめ

住民と関係機関の連携で

まちづくり

地域の活力と魅力を高めるためには地域住民が一丸となり、積極的に活動していくことが重要である。関係機関が共に手を携えながら、地域に何が必要か、何をしなければならぬのかを考え、取り組んでいくべきである。

教育厚生 常任委員会

委員長 久 勉 謙一
副委員長 杉浦 順 啓一
委員 只野 大友 佐々木みさ子 竹中 弘光

テーマ

住み良いまちづくり

調査結果および意見

教育委員会部門

不登校対策として、わくや子どもの心のケアハウス「コンパス」を開設しているの、今後に期待する。

健康福祉部門

学童保育は新施設建設などにより、来年度から6年生までが対象となり充実が図られる。

公営企業部門

病院改革プランの進行管理については、財政非常事態宣言があり、病院内部でも経営健全化について論議されて改善に取り組んでいることから、今後に期待する。

まとめ

事業の着実な実施、再建計画の推進に努力を

財政非常事態宣言、前町長の不幸な出来事、台風災害などこれまでにならぬ異常事態に直面し、各部門の事業実施に少なからず影響があったと思われる。

今後は、各課所管事業の着実な実施とともに、財政再建計画の推進に職員の一層の努力を望む。



完成間近の新児童クラブ

広報広聴 常任委員会

委員長 大友 啓一
副委員長 只野 順
委員 全議員 (議長は除く)

活動内容

議会広報誌の編集・発行や、各地域において議会懇談会を開催した。議会で議論された内容を説明し、議会活動や町政に対する意見・要望・提言を聴取し、執行部に照会するとともに政策提言を行った。



涌谷高校の生徒と意見交換も行いました

1月 第2回 会議

(1月20日開催)

財政再建計画に基づく
使用料および手数料の見
直しに伴う条例議案など、
議案6件、各会計補正予
算2件を原案どおり可決
しました。

使用料等の見直しに伴う 関係条例の整備

財政再建計画に基づき、
使用料および手数料の見
直しを行うため、地方自
治法の規定により関係条
例の整備を行うもの。

討論

反対 久 勉議員

特定の施設除外 不公平

公の施設として整備す
べきと提言してきたパー
クゴルフ場やテニスコー
トなどの施設は、利用者
がそれぞれに整備し利用
している。施設は今回の
条例に含めるべきであり、
町できちんと精査したの
か疑問がある。町の土地
は特定の利用者だけでな
く、町民が公平に利用で
きるよう負担も公平にす
るべきと考え、反対する。

放課後児童クラブに係る 条例の整備

令和2年4月から、「新
放課後児童クラブ」を開
設することに伴い、新た
に条例を制定し、利用料
金を徴収するため関係条
項を整備するもの。

討論

反対 杉浦 謙一議員

利用料増大大きな負担

4月から利用料が月額
3000円になれば、年
間ではこれまでの2万4
000円が6万円になり、
利用者にとっては大きな
負担となる。
今後の財政状況も考慮
したとのことであるが、
子育て支援の充実を掲げ
る町の取り組みに逆行す
る施策であり、容認でき
ないことから反対する。

1月第2回会議採決状況 ○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

件名	黒澤 朗	涌澤 義和	竹中 弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉 定	伊藤 雅一	久 勉	杉浦 謙一	鈴木 英雅	大泉 治	大友 啓一	後藤 洋一
使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	×	×	○	欠席	○	×	○	×	×	○	○	○	議長
涌谷町放課後児童健全育成事業実施条例	○	○	○	欠席	○	○	○	×	×	○	○	○	議長

11月 会議

(11月22日開催)

台風被災者に対する町
税などの減免に関する条
例と、ゆうらいふの災害
復旧工事費などを含む補
正予算を原案どおり可決
しました。

令和元年台風第19号による 豪雨被害状況などの報告 (11月20日現在)

被害総額

6億3904万円

※住宅被害、稲わらや災
害廃棄物の処理費用など
は含まない

被害額の内訳

(農業関連)

3億1994万円

(道路被害)

2億3281万円

(商工業関係)

4546万円

(公共施設など)

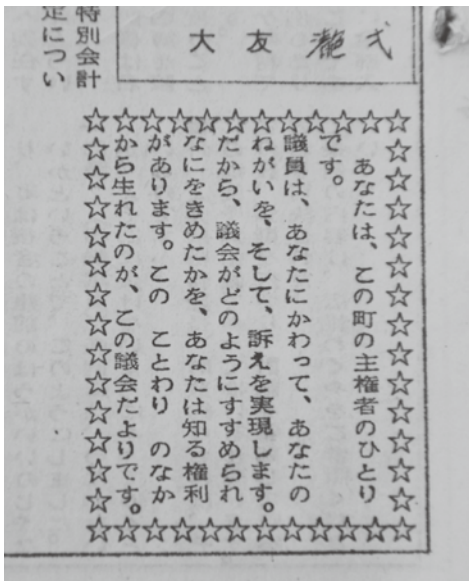
4081万円

※金額についてはいずれ
も千円以下切り捨て



高齢者福祉複合施設ゆうらいふの被災状況
施設の全館が床上浸水しました

町民と共に歩む 議会を目指して



右下部分拡大



議会だよりわくやが創刊から200号を迎えました。第1号は「浦谷町議会だより」として昭和43年12月10日に発行され、以来50年にわたり町議会を町民の皆さんに伝えてきました。これまでの議会だよりわくやの歴史を振り返ります。

200号特集

記念すべき第1号

昭和43年に発行された第1号は「第四回 定例議会開かる」として、同年9月27日から6日間の会期で開催された、9月定例議会の詳細が掲載され、B5サイズ、全24ページで構成されています。

議会公開の原則

当時の大友龍式議長による、創刊のあいさつが掲載されています。その中に、「議会には公開の原則があり、常に町民のみなさまの傍聴をお待ちしているのですが、みなさまも、ご多忙の毎日を過されるところから、傍聴に来られる方も少なく、政策決定の過程が知られないでしまうことが多いのではないかと心配するものであります。この度、議会だよりを発行することになり、いささかでも、みなさまのご期待にそい得る紙面になるよう今後ますます努力を

いたして参りたいと考えております」とあり、議会審議の内容を町民に知らせたいとの願いから発行に至ったことが読み取れます。

町の主権者は 町民一人一人

さらに表紙には、囲みで強調された部分に「あなたは、この町の主権者のひとりです。議員は、あなたにかわって、あなたのねがいを、そして、訴えを実現します。だから、議会がどのようにすすめられなにをきめたかを、あなたは知る権利があります。このことわり、のなかから生れたのが、この議会だよりです」と明記されています。

主権者である町民に議会を知らせることに加え、町民の代表である議員が、町民のために活動していくことを約束しています。この文言は議会だよりの紙面が変更される前年の昭和48年まで掲載されていました。

議会だよりわくや

創刊200号特集

町民の皆さまに親しまれる

議会だより

このたび、議会だよりわくやが創刊から200号を迎え、その節目に広報分科会長として編集作業の責任者を努めさせていただくことは、誠に光栄に存じます。

議会だよりわくやが、昭和43年（1968年）12月10日に創刊されて以来、50年以上の間発行され続けてきましたことは、町民の皆さまのあたためたご支援、ご協力のおかげであると心より感謝申し上げます。



広報分科会長 稲葉 定

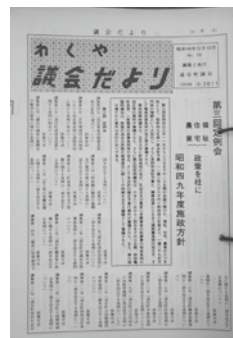
議会だよりについては、議会運営の最高規範である議会基本条例にもその充実がうたわれております。「町政に係る重要な情報を議会独自の視点から、常に町民に対して周知する」「町民に親しまれ、説明責任、情報公開、情報提供の方策に重要な役割を果たす有効な議会広報となるよう努める」と定められており、まだまだ力不足であることは承知しておりますが、町民の皆さまと議会をつなぐかけはしとして、議会だよりをお届けできるよう更に研鑽を重ねてまいります。

今後とも、議会だよりわくやの発行にご指導、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

議会だよりわくやの歩み

第1号（昭和43年12月）

第19号（昭和49年12月）
タイトルを「わくや議会だより」とし横書きに、本文を5段組みに変更。



第50号（昭和57年8月）

3月定例会で安部卓爾氏が名誉町民第1号に。

第95号（平成6年4月）
紙面がA4判に拡大され、タイトルが「私たちの町議会わくや」となる。



第100号（平成7年8月）

第100号記念特集として、小・中学生模擬議会を開催。



第128号

（平成13年11月）
タイトルが「議会だよりわくや」となる。

第150号（平成19年7月）

町村議会広報全国コンクール奨励賞を受賞（平成3年2月）



200号特集

たくさんのご参加ありがとうございました

西地区

竹中 弘光 議員
 稲葉 定 議員
 後藤 洋一 議員
 大泉 治 議長

東地区

佐々木みさ子議員
 只野 順 議員
 杉浦 謙一 議員
 鈴木 英雅 議員

箕岳地区

佐々木敏雄 議員
 大友 啓一 議員
 伊藤 雅一 議員
 久 勉 議員

午前

4区ゆうゆう館 17人
 洞ヶ崎生活文化センター 6人
 産仮小屋会館 6人

午後

長柄町生活共同利用センター 22人
 上谷地共同文化センター 17人
 大谷地集落センター 6人

参加人数 合計 74人

災害時の避難・避難所関連

今回の災害で多くのご意見をいただきました。 ご意見を参考にし、今後の避難所運営などに対処いたします。

浸水被害が相次ぐと、町を見限って出ていく人がいるのでは？計画を示して人の流出を防いでもらいたい。

第一小学校が避難所になっているが、夜間相当地に冷え込むので対策を考えてほしい。新築される学童保育の施設に変えてはどうか。

さくらんぼこども園は子どもの施設なので、大人にとってはトイレが小さく、使いづらい。和式トイレを洋式トイレに。

福祉避難所の指定があるが、介護度などのすみ分けができていない。

第一小学校に車で行って大きく浸水した場合、自動車が水没するので避難をためらってしまう。

情報が少ないので自分のことしかわからなくなる。町全体の情報を伝えてほしい。防災無線だけではわからない。

情報の伝達方法をもっと工夫してほしい。

制約もあると思うが、町の情報をもっと早く出せないか。

避難所の再検討、避難情報発信の徹底、トイレ、寝具など避難者への処遇改善を。

避難所が近くにないので今後検討してほしい。

避難所に行こうにも浸水で行けなかった。避難所の見直しをすべきでは？

避難所を指定して、水、毛布、食事が無いのはおかしい。

地元建設業者の協力を得易くする工夫が必要。

避難所に格差があるのでは？具合が悪くなくても救出不可能な避難所は不適切。



長柄町生活共同利用センター

涌谷町議会は各種団体の皆さまとの意見交換会を開催したいと考えております。

実施希望の場合は議会事務局までご連絡ください。

(涌谷町議会事務局 43-2127)

議
会
懇
談
会

議会懇談会

ともに語ろう～浦谷町～

令和元年11月17日（日）、町内6地区の会場で議会懇談会を開催しました。

昨年度の決算概要など、議会での審議内容をお知らせし、町民の皆さんから町への意見や思いを語っていただきました。

懇談会で出された主な意見・質問などをお知らせします。会場での回答に加え、町の考えを確認して掲載しているものもありますので、ご了承ください。

（「議員の定数・報酬」以外は町としての回答を掲載しています。）

議員の定数・報酬

意見

議員定数・報酬額の見直しは？

回答

平成27年度に、定数を15名から13名に減員しました。現在の議員数は県内の町村議会の中で下から3番目です。

報酬額は県内中位となっています。

水道料金への補助は？

意見

被災者は泥を洗い流すために水道水を通常より多く使用する。水道料金への国の補助は？

回答

国の補助はありません。

町として、今後の検討課題といたします。

認知症リスク調査事業

意見

科学的に解明しているのであれば結果を公表してほしい。

回答

今年度までの調査事業ですので、終了後に講演会などを開催し公表いたします。



上谷地共同文化センター

国保病院への意見

意見

病院の再編報道については？

回答

地域の実情を度外視したものとなっています。厚生労働省は「再編を強制するものではない」と弁明に努めています。

町としては再編・統合をせずに国保病院の健全経営を目指してまいります。

意見

病院の医師が短期間でやめていくのはなぜ？

回答

宮城県の人事で配置された医師については1～2年程度で他の公立病院へ異動することになっています。

町有地の管理 改善を

意見

町有地（竹林）の管理がまだ不十分なので改善してほしい。

回答

現状の管理について、草刈、竹林伐採など改善いたします。

町職員への意見

意見

①職員の教育、モチベーションアップが必要。能力主義の推進を。

②課長級職員のレベルアップが必要。部下への教育、育てることの重要性を認識してほしい。横割間での情報交換が重要。

回答

財政再建計画において、職員研修の充実や能力開発、職員提案制度の拡充および人事評価への反映を行うこととしており、職員の教育、能力開発に努めてまいります。

議会に皆さんのご意見をお寄せください。

キラキラ Voice

vol. 1 1



大平 博さん(下小塚区)
(消防団本部分団ラッパ班 班長)

Q あなたのことを教えてください。

A 建設業の仕事に50年間従事しています。地域の安全を守るため、消防団に入っています。

Q 議会についてどう思いますか。

A 議会だよりは、わかりやすい記事になっているので、読みやすいと思います。

Q 涌谷町をどういう町にしたいですか。

A これまで以上に災害に強いまちづくりをしてもらいたいです。若い人たちに積極的に消防団に入団してもらいたいです。

議会から

議会だよりへのご意見ありがとうございます。大平さんは消防団に入団して35年の大ベテランで、地元第4分団の団員として地域の安全を守りながら、本部分団ラッパ班の班長としても活躍されています。昨年の台風災害において、出来川の越水を食い止めたのは消防団でした。議会としても、消防団の存在は本当に心強く感じています。町民の皆さんが安心して生活できるよう、災害に強いまちづくりにより一層力を入れていきます。



議会を傍聴

しませんか

次回の定例会は

3月上旬ごろ

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、町ホームページでお知らせいたします。場所は役場西庁舎2階です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎ 43-2127

一般質問を
動画配信しています。



当議会では、議員ごとの一般質問の内容を、涌谷町ホームページで動画配信しています。ぜひご覧ください。

編集ろまん
だより

昨年末の議会改選後、年明けの初議会で広報分科会の陣容が決まり、このチームで議会広報誌の編集をすることになりました。

読みやすく、親しみのわく誌面づくりに努力してまいりますので、ご愛読よろしくお願いたします。新しい企画、いつもと違った切り口などにも挑戦していきたいと思っています。

創刊200号の記念号ではありましたが、発行までの時間的制約で特別な企画ができなかったことはすごく残念でした。

(稲葉)

編集 広報広聴常任委員会広報分科会
分科会長 稲葉 定
副分科会長 黒澤 一朗
委員 大友 啓一
委員 伊藤 義和
委員 久藤 義和
委員 涌澤 義和